

預金積金

預金積金は、個人の流動性預金は増加した一方、定期性預金の減少により、前期比44億円減少の5,222億円となりました。

2023年度

5,222億円



貸出金

貸出金は、課題解決に着目したご融資のご提案に加え、各種個人向けローンのご提供、地公体等向け融資の推進などにより、前期比36億円増加の1,660億円となりました。

2023年度

1,660億円

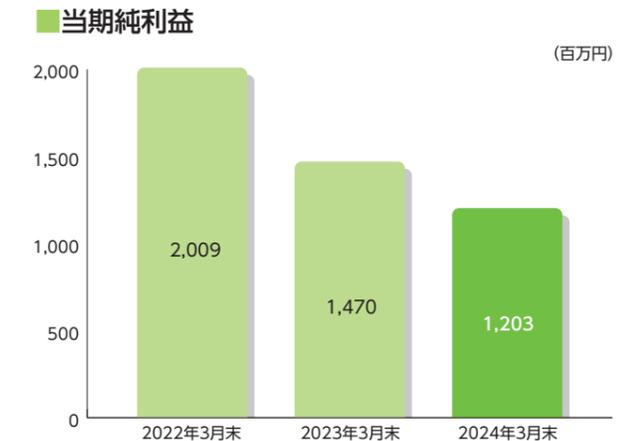


当期純利益

資金運用収益および役務取引等収益が順調に推移した一方、ポートフォリオの入替に伴う国債等債券売却損の計上等により、当期純利益は前期比267百万円減少の1,203百万円となりました。

2023年度

1,203百万円



自己資本比率

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。その結果、自己資本額は709百万円増加し、自己資本比率は前期比0.57ポイント上昇の11.23%となりました。

2023年度

11.23%



不良債権比率

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比1,224百万円増加の10,130百万円となりました。また、不良債権額の増加により、不良債権比率は0.61ポイント上昇の6.07%となりました。

2023年度

6.07%

金融再生法開示債権

